

みずほCustomer Desk Report 2017/08/01 号 (As of 2017/07/31)

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	110.36 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.50	1.1747	129.81	0.9693	1.3140	0.7982
SYD-NY High	110.77	1.1845	130.59	0.9712	1.3223	0.8004
SYD-NY Low	110.21	1.1724	129.56	0.9637	1.3097	0.7957
NY 5:00 PM	110.26	1.1842	130.58	0.9663	1.3215	0.8004
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.73/9.08		Δ25RR	1.075	Yen Call Over	
NY DOW	21,891.12	60.81	債券市場	日本2年債	-0.1130	0.1bp
NASDAQ	6,348.12	▲ 26.55		日本10年債	0.0830	0.7bp
S&P	2,470.30	▲ 1.80		米国2年債	1.3491	0.2bp
日経平均	19,925.18	▲ 34.66		米国5年債	1.8356	0.2bp
TOPIX	1,618.61	▲ 2.61		米国10年債	2.2942	0.5bp
シカゴ日経先物	19,940.00	▲ 30.00		独10年債	0.5430	0.1bp
ロンドンFT	7,372.00	3.63		英10年債	1.2300	1.2bp
DAX	12,118.25	▲ 44.45		豪10年債	2.6780	▲ 0.6bp
ハンセン指数	27,323.99	344.60		為替市況	USD/CNH	▲ 0.0099
上海総合	3,273.03	19.79		ドルインデックス	92.86	▲ 0.40
USDJPY 3M Vol	8.99	0.21%	商品市況	CRB指数	182.642	0.52
USDJPY 6M Vol	9.18	0.08%		NY金	1,273.40	▲ 1.90
EURJPY 3M Vol	9.64	0.17%		WTI	50.17	0.46
EURJPY 6M Vol	9.82	0.09%		Dubai Spot	51.09	0.93

[昨日の指標等]

Date	Time	Event	結果	予想
7月31日	8:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	6月 1.6%/4.9%	1.5%/4.8%
	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	7月 514/54.5	515/-
	18:00	欧 失業率	6月 9.1%	9.2%
	18:00	欧 CPI予想/CPIコア(前年比)	7月 1.3%/1.2%	1.3%/1.1%
	22:45	米 シカゴ購買部協会景気指数	7月 58.9	60.0

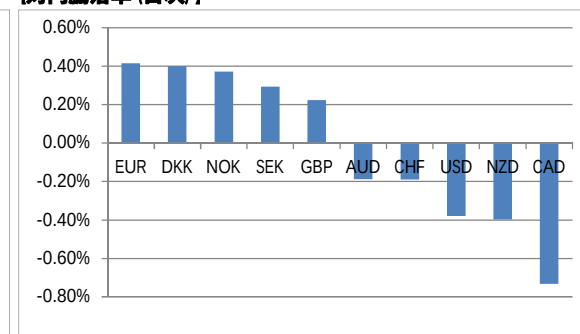
[本日の予定]

Date	Time	Event	予想	前回
8月1日	10:45	中 Caixin製造業PMI	7月 50.4	50.4
	13:30	豪 RBAキャッシュレート	- 1.50%	1.50%
	18:00	欧 GDP(季調済・前期比/前年比)・1次速報	2Q 0.6%/2.1%	0.6%/1.9%
	21:30	米 個人所得/個人支出	6月 0.4%/0.1%	0.4%/0.1%
	21:30	米 PCEコア(前月比/前年比)	6月 0.1%/1.4%	0.1%/1.4%
	22:45	米 マークイット製造業PMI・確報	7月 53.2	53.2
	23:00	米 ISM製造業景況指数	7月 56.5	57.8

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



東京	週明けのドル円は110.50レベルでオープン。朝方、日米首脳電話会談が開催され、中国やロシアに対しても北朝鮮への圧力強化を呼びかけていくことで一致したと報じられた。前週末の北朝鮮による大陸間弾道ミサイル発射実験を受けて朝鮮半島を巡る地政学リスクが再び警戒され、加えて月末に関連したフローも意識される中、ドル円は東京時間安値110.30をつける。但し、一部には下落したところは押し目と捉える声も聞かれたほか、午後にかけて米金利が小幅ながら反発上昇したこともサポート材料となり、ドル円は下抜けすることなく110円台半ばを中心とした値動きに終始。結局、110.62レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は一部で夏枯れ相場も意識される中、110円台後半で30銭弱のレンジで推移。朝方は110.62レベルでオープン。ロンドン午前8時に向けて小幅ながら円売り地合となり、高値110.77まで上昇。しかしその後は欧州株等も含めて市場全体として方向感が出るには至らず、ドル円はロンドン安値110.50まで反落し、110.57レベルでNYへ渡った。ポンドドルも1.31台前半で同じ動きの展開。朝方は1.3125レベルでオープン。一旦は安値1.3097レベルまで下落したものの、その後反発し、1.3118レベルでNYへ渡った。(ロンドン・L7リ- 00531 444 179 日比野)
ニューヨーク	海外時間のドル円は110円台半ばを挟んで推移し、110.57レベルでNYオープン。朝方発表された米7月シカゴ購買部協会景気指数が予想を下回ったことや、月末に関連したフローも相俟って米金利が低下したことからのドル円はじり安の展開。その後ストップを巻き込みながらユーロドルが急伸し、ドルが売り込まれたことや、「トランプ大統領、スカルムツ広報部長を解任」とのヘッドラインを受けて、21日に任命したばかりの同氏が解任される動きに、トランプ政権に対する不透明感が一層強まりドル安が進行。ドル円は安値110.21まで下落した。しかし、ベネズエラの政情不安が原油の供給減につながるこの見方から、WTI原油が約2ヶ月ぶりに50ドルを上回ったことや、ダウが堅調に推移し史上最高値を更新したこと、110円近辺では下げ渋り、110.26レベルで海外に渡った。一方ユーロドルは1.17台前半での底堅い推移が続き、1.1730レベルでNYオープン。米金利低下を横目にドル売りが強まりユーロドルは先週金曜日(7/28)の高値1.1764を上抜け、1.1797まで急伸。1.18台手前ではユーロ売り需要もあり、一旦この水準で反落したが、その後もドル売りの流れが続く中、1.1800を上抜けし2015年1月以来となる高値1.1845まで上昇。結局、1.1844レベルで海外に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 矢野・坂本

[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00-110.60	1.1800-1.1850	130.30-130.80

[マーケットインプレッション]

海外時間のドル円相場は「じり安」。特段目立った材料のない中、トランプ米大統領が任命したばかりのスカルムツ広報部長を解雇するとのヘッドラインが伝わると、トランプ米大統領の政権運営に対する不透明感の高まりからじり値を切り下げる展開となった。本日のドル円相場は「上値の重い展開」を予想。日中は手掛かり材料に欠けるものの、米医療保険制度改革法(オバマケア)代替法案審議の遅れなど、引き続き米政局に対する不透明感が漂う中、ドルの上値を押さえよう。